

横浜市福祉保健研修交流センター指定管理者選定評価委員会 第三者評価 第1回会議 会議録	
日時	令和2年 11月9日(月) 午後6時～7時
開催場所	福祉保健研修交流センターウィリング横浜 5階 502号室
出席者	平野委員、田高委員、木村委員、小林委員、中野委員、瀬戸川委員
欠席者	なし
開催形態	公開(傍聴者 1名)
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員長及び委員長職務代理者の選出 2 会議の公開及び議事録等の公開について 3 指定管理者第三者評価の趣旨及び進め方について 4 施設概要について 5 評価項目(案)について 6 今後の日程について
決定事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 本日の会議は公開とする。 2 評価項目(案)は一部修正する。 3 第2回の会議は公開とする。
議事	<p>質疑要旨</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 委員長及び委員長職務代理者の選出 <ul style="list-style-type: none"> ・委員長について、木村委員より平野委員の推薦があり、了承された。 ・委員長職務代理者について、平野委員長より田高委員の指名があり、了承された。 2 会議の公開及び議事録等の公開について <ul style="list-style-type: none"> ・本日の会議は、特に非公開にすべき事由がないため、公開で行うことで了承された。 3 指定管理者第三者評価の趣旨及び進め方について <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料3に沿って説明 4 施設概要について <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料4に沿って説明 5 評価項目(案)について <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料5に沿って説明 <p>(平野委員長) それでは、評価項目の議論をしていただきたい。Ⅰ(利用者サービスの向上)からⅣ(組織運営及び体制)は横浜市共通の評価項目、Ⅴ(組織運営及び体制)はウィリングに特化した評価項目です。皆さんの意見を伺いたい。</p> <p>(木村委員) 感染予防、感染が広がった時の対応等感染症対策を検討しても良いと思う。</p> <p>(平野委員長) ウィリングだけでなく横浜市全体に関わることなので、どのように協議したら良いか。</p> <p>(事務局) コロナ対策については、横浜市共通の取組がすでになされており、検温、消毒等の一定の取組は施設でやっている。研修の部分も、アクリル板を立てる、ソーシャルディスタンスを保つ等慎重にやっている。そのうえで、共通項目には無いが、その他のところで協議するとか、第2回のヒアリングで質問していただき、書面にどういう形で盛り込むかは、検討させていただくことでいかがでしょうか。</p> <p>(平野委員長) ちゃんとやっていることをきちんと表すことが大事</p> <p>(田高委員) 目次のレベルできちんと目出しすることが大事。厚労省が福祉保健施設の考え方をすでに公表し随時更新している。新生活様式と呼ばれる平時の活動があって、それでも感染が拡大してしまったり、クラスターが発生したり陽性者が出た場合には緊急時の対応になる。そのあたりをしっかりと目出しして評価できるようにすることが、施設を利用する市民の方に対しても必要だと思う。</p> <p>(事務局) その他に入れるのではなく、感染症対策として別項目を設けて、事務局で案を作り提案させていただきたい。</p> <p>(田高委員) よろしいと思います。</p> <p>(事務局) 前提条件として、評価対象は平成30年度と令和元年度です。令和2年3月</p>

	<p>は貸館がクローズ状態でした。4～5月はクローズです。コロナは主に4月以降だが大切な要素なので項目は別出しにしたい。</p> <p>(中野委員) 広報、PR活動の部分で、確認すべき媒体が紙ベースばかりになっているが、現在の広報・PR活動はSNS・Webが中心だと思っている。紙媒体の評価だけでは足りない。</p> <p>(平野委員長) 情報の収集・提供の実施の部分とも関連が出てくる。</p> <p>(事務局) 項目自体が実態に合わないところもいくつかあるが、評価の部分で厳しい意見をいただければ幸いです。</p> <p>(平野委員長) 御意見をいただいた感染症と広報・PR活動の評価項目について、事務局と委員長で確認したもので評価をしていきたいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>(委員一同同意)</p> <p>(平野委員長) ありがとうございます。</p> <p>6 今後の日程について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料6に沿って説明 <p>(平野委員長) 第2回・第3回の日程については、改めて皆様の御都合を伺いながら決めさせていただきたい。2回目の会議については、評価項目に基づいて指定管理者と事務局が作成したものを皆さんがあらかじめご覧になっていただき会議に臨むということでもよろしくお願ひします。</p> <p>2回目の会議についても、特に個別の案件ではありませんので、公開とさせていただきます。</p> <p>本来であれば11月よりも早い時期に行われるのかなと思いますが、こういう事情でするので何とか3月までに評価を出せるように取り組んでいきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。</p>
資 料	<p>資料</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 名簿 2 横浜市福祉保健研修交流センター指定管理者選定評価委員会運営要綱 3 第三者評価の実施について 4-1 横浜市福祉保健研修交流センターウィリング横浜の概要 4-2 福祉保健研修交流センターウィリング横浜 フロア概略図 5-1 横浜市指定管理者第三者評価制度 横浜市福祉保健研修交流センターウィリング横浜 評価シート (案) 5-2 論点整理表 6 横浜市福祉保健研修交流センター指定管理者第三者評価実施スケジュール

横浜市福祉保健研修交流センター指定管理者選定評価委員会（第三者評価）第2回会議 会議録	
日 時	令和3年3月23日（火）16時00分～17時30分
開 催 場 所	横浜市福祉保健研修交流センターウィリング横浜 5階503号室
出 席 者	評価委員：平野友康（委員長）、木村喬、小林進、中野美奈子、瀬戸川徹、 指定管理者：林昭宏（館長） 他2名
欠 席 者	評価委員：田高悦子
開 催 形 態	公開（傍聴者なし）
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 評価案について <ol style="list-style-type: none"> (1) 記述案についての説明 (2) 指定管理者へのヒアリング (3) 評価の審議 2 第3回会議の公開・非公開について 3 今後のスケジュールについて 4 評価シートの提出について
決 定 事 項	<ol style="list-style-type: none"> 1 評価シート中評価結果の総括及び大項目V. 施設の特質・専門性、VI. 新型コロナウイルス感染症対策を中心に、指定管理者へのヒアリング及び評価の審議を実施。 2 各委員による評価は、4月14日までに事務局あて提出。 3 提出された委員の評価をもとに、委員長及び事務局で評価取りまとめ案を作成。 4 第3回会議で評価とりまとめ案について審議。 5 第3回会議は公開で開催。
議 事	<p>質疑要旨</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会議の進め方について （事務局から説明） <ul style="list-style-type: none"> ・「評価の総括」及び大項目V「施設の特質・専門性」、大項目VI「新型コロナウイルス感染症対策」を中心に議論いただく。 ・各委員の評価は評価シート案に記入いただき、4月14日までに事務局あて提出いただく。 ・各委員の評価をもとに、委員長と事務局が評価取りまとめ案を作成し、第3回会議で各委員に確認をいただく。 ・本日の流れとしては、評価シート案について事務局から説明を行い、その後指定管理者へのヒアリングを行い、その後評価案について御審議いただく。 2 評価シート案について （事務局から説明） <ul style="list-style-type: none"> ・評価シートには、指定管理者による自己評価と、事務局が事実確認等を行って作成した評価機関の記述案をあらかじめ記入している。 ・事務局が、根拠となる資料の確認及び指定管理者へのヒアリングを行った結果、

著しく不足している、または不適切な状態である項目は無かった。

(中野委員) 利用者アンケートについて、アンケートを答えた人の年齢層はどのような層か。

(指定管理者) 研修室の貸出団体が対象。年齢の区分ではなく、福祉保健活動従事者か一般利用団体かの区分をしている。福祉保健活動従事者が7、一般利用団体が3の割合になっている。

(小林委員) 災害対策の部分でBCPを備えている。全国的にBCPが進まないことが課題となっている中、すでに備えていることは評価すべき。総括の部分で触れても良いのではないか。

◆指定管理者へのヒアリング◆

(瀬戸川委員) 福祉保健人材確保・定着支援事業の部分で、個別相談を止めたことについて、個別相談を2年連続で月・金に開催していた。土・日の方が相談しやすい人がいると思うが見直しは考えなかったのか。

(指定管理者) 県社協がやっている「かながわ福祉人材センター」は毎日開いている。「かながわ福祉人材センター」は斡旋の許可をとっており、すぐに雇用につながるので、連携をとり情報提供の取組にシフトした。

(瀬戸川委員) ラポール上大岡と研修の共催を考えているか

(指定管理者) 情報資料室でラポールの紹介をしている。今後もミーティング等を重ね連携を深めていきたい。

(平野委員長) 評価結果の総括V「施設の特質・専門性」の評価機関記述案で、福祉保健人材の確保について「関係機関や大学、専門職団体等と連携し取り組みを検討する必要があります。」と書かれているが、このことについて考えを聞きたい。

(指定管理者) 人材の確保について、ウィリングとしてどこまでできるかは課題であるが、よこはま福祉・保健カレッジの参画機関との情報交換や県社協、区社協等が行う福祉の仕事フェアやお仕事相談等を通して福祉保健の担い手の確保につなげていきたい。

(小林委員) 蔵書を充実させていることの理念を聞かせてほしい。

(指定管理者) 本を手にとって興味を持ってもらう機会を増やす取組みです。

(瀬戸川委員) コロナ禍において返却後の本の消毒はどのようにしているのか。

(指定管理者) 紙製のものは24時間、プラスチック製のものは72時間置いて消毒をしてから手に触れるようにしている。

(木村委員) 個人情報の管理について、データの管理はどのようにしているのか。

(指定管理者) 個人情報を含むデータは個人のパソコンには保管しない。法人として定めている場所に保管しパスワードをかけている。

(木村委員) ノートパソコンの持ち運びはしていないのか。

(指定管理者) セキュリティワイヤーでつないでおり持ち運びはしていない。

(木村委員) 外部サーバーは利用していないのか。

(指定管理者) 利用していない。

(中野委員) W i - F i は飛んでいるか。

(指定管理者) W i - F i は飛んでいないが、無料でルーターを貸し出して有線につなげて対応している。

(平野委員長) 評価結果の総括 I 「利用者サービスの向上」の評価機関記述案に「今後はアフターコロナ、ウィズコロナの社会環境の変化に対応することを検討し、適切かつ効果的なサービス提供に取り組むことを期待します。」と書かれている部分を考えながら活動に取り組んでいければ良いと思う。

評価結果の総括 II 「施設・設備の維持管理」の評価機関記述案に「株主総会などの利用に対応」と書かれているがどういう意味か。

(事務局) 一般利用で株主総会での利用があるため、対応できるように配慮して、こまめに補修している。

(平野委員長) 評価結果の総括 IV 「組織運営及び体制」の評価機関記述案に「コロナ禍だからこそその経費削減」と書かれているが、どのようなものがあるか。

(事務局) 人件費を含めた運営経費です。緊急事態宣言が発令されると開館時間が短くなるので勤務時間にも影響する。シフト勤務のローテーションを工夫することにより人件費の削減を図る、光熱水費の不要となる部分を削減する等をイメージしている。

(木村委員) I Tセキュリティ系にもう少し触れたほうが良い。

(事務局) いただいた御意見を会議録に引き継ぎ、評価シートに反映させる参考にしたい。

(小林委員) 情報セキュリティと費用負担とのバランスが必要。

(木村委員) 分かる人材を雇用するにはコストがかかる。必ずしもハイエンドのものを入れるのではなく、相応のものを入れれば良い。

(事務局) ウィリングの場合、扱っている個人情報研修参加者の最低限のものではあるが、管理の仕方、廃棄の仕方をきちんと確認して対応したい。

(平野委員長) 情報の管理、情報の提供の仕方はネットだけではなく書籍などもある。それらも含めてうまくできればよい。

◆評価の審議◆

(委員) 意見無し

(平野委員長) 評価シートの内容、指定管理者へのヒアリングを通じて、事務局の案

	<p>を基本にして、4月14日までに提出する意見等を加味して評価につなげていくというところでよろしいでしょうか。</p> <p>(委員) 異議なし</p> <p>3 第3回会議の公開・非公開について (平野委員長) 第3回会議は公開でよろしいか。 (各委員) 異議なし。</p> <p>4 第3回会議の日程調整と今後のスケジュールについて (事務局から説明) ・資料2にそって説明。</p> <p>5 評価シートの提出について (事務局から説明) ・各委員の評価は、4月14日(水)までに提出いただくよう説明。</p>
資 料	<p>1 評価シート</p> <p>2 実施スケジュール</p>

横浜市福祉保健研修交流センター指定管理者選定評価委員会（第三者評価）第3回会議 会議録	
日 時	令和3年9月
開催場所	書面にて開催
出席者	評価委員：平野友康（委員長）、田高悦子、木村喬、小林進、中野美奈子、瀬戸川徹、
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者なし）
議 題	<p>1 評価報告書の審議</p> <p>(1) 評価報告書（案）について</p> <p>(2) 評価シート（案）について</p> <p>2 今後のスケジュールについて</p>
決定事項	<p>1 評価報告書（案）については修正なし</p> <p>2 評価シートの3ページ V 施設の特質・専門性 評価機関の記述の、語尾をそろえるために、 2～3行目「研修計画を作成している。」を「研修計画を作成しています。」に修正 7～8行目「研修の充実を図ってほしい。」を「研修の充実を図ってください。」に修正</p> <p>3 評価シートの23ページ IV 新型コロナウイルス感染症対策 (2) 新しい生活様式における対策＜評価できる点＞に 「ウィリング横浜研修実施ガイドライン」に基づき適切な施設の運営が行われ、ウィリング横浜からクラスターを発生することが無かった。」を追加</p> <p>4 今後のスケジュールについて 資料3のとおり</p>
議 事	<p>1 評価報告書の審議</p> <p>委員からの意見</p> <p>瀬戸川委員 評価シートの3ページ V 施設の特質・専門性 「評価機関の記述で語尾をそろえるために、 「研修の充実を図ってほしい」を「研修の充実を図ってください」に修正」</p> <p>田高委員 評価シートの23ページ IV 新型コロナウイルス 感染症対策 (2) 新しい生活様式における対策 「研修交流施設における対策については、政府による「新型コロナウイルス感染症対</p>

	<p>策の基本的対処方針」(2020年5月4日)などにおいて、当該施設に応じた感染拡大予防ガイドラインの策定が求められています。</p> <p>ウィリング横浜については、そのようなガイドラインを独自に策定された場合はそのことについて、あるいは既存のガイドラインを遵守された場合はそのガイドライン名について明示されたうえで、結果、適切な研修会運営が行われ、本会場からクラスターを発生させなかった場合は、特筆に値すると存じますがいかがでしょうか。」</p> <p>平野委員長</p> <p>「新型コロナウイルスにより介護士や保育士、社会福祉士などの重要性が改めてクローズアップされてきました。人材の確保にとどまらず専門職として担える人材を育てる重要性を感じました。だからこそ日々の運営業務をマニュアル等整備しながら丁寧に行う姿勢を大切にしていきたい点と思いました。」</p>
<p>資 料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 評価報告書 2 評価シート 3 今後のスケジュール